

書名	万葉文化論		著者名	上野 誠／著			
出版社	ミネルヴァ書房	ISBN	978-4-623-08427-2	本体価格	¥6,500	発売	2019/1/上旬
内容	表現を支える「万葉文化論」が現今の万葉研究には欠かせないとの思いから、これまでの発表論文に加筆修正を加えてまとめた、氏の20年にわたる研究の集大成である。今日の万葉研究の水準を踏まえ、その表現と古代の生活世界の間を明らかにすることで、歌表現を立体的に捉え、二次元の歌を三次元の世界で表す画期的な試み。各節の冒頭に置かれた軽妙な釈義(パラフレーズ)が、万葉生活の世界に読者を誘う。						

書名	漫画で楽しく歌を味わう百人一首		著者名	吉海 直人／監修			
出版社	ブティック社	ISBN	978-4-8347-9004-7	本体価格	¥1,250	発売	2018/12/5
内容	歌の意味、言葉の意味をふりがなつきで分かりやすく解説しています。あの歌の知られざるエピソードを面白おかしく漫画で紹介！男女の色恋から人生論、自然の情景を詠んだものまで、思わず共感してしまう、歌に込められた心情を解説！						

書名	書いて味わう 百人一首 美文字手習い帖(仮)		著者名	藏中しのぶ／監修 高城弘一／書			
出版社	東京書店	ISBN	978-4-88574-030-5	本体価格	¥1,200	発売	2019/1/上旬
内容	誰もが一度は触れたことがある百人一首を、読んで、書いて、鑑賞できる本。天智天皇から順徳院までの100人100首の和歌をすべて掲載。それぞれの歌の解説のほかに、歌を五七五七七でなぞり書きしたり、百人一首カルタを観て楽しめる。巻頭には、きれいな文字を身につけられる練習ページ付き。						

書名	大乘仏教 ～ブツダの教えはどこへ向かうのか		著者名	佐々木 閑／著			
出版社	NHK出版	ISBN	978-4-14-088572-7	本体価格	¥820	発売	2019/1/10
内容	「自己鍛錬」を目的にした釈迦の教えは、いつ、どこで、なぜ、どのようにして、「衆生救済」を目的とする大乘仏教に変わったか？『別冊NHK100分de名著 集中講義 大乘仏教』を大幅改訂し、大乘仏教1500年の常識を覆す「大乘起信論問題」の顛末を新たに書き下ろした、究極の仏教概説書。						

書名	日本の皇室			著者名	津田 左右吉／著			
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-160182-7	本体価格	¥1,800	発売	2019/1/11	
内容	天皇の権威と統治についてその由来と実態を検証し独自の学問的見地から民主国家との親和性を説く。元号の由来と改元の意義を再考する。 (解説)真辺将之							

書名	日本古代の地域社会と行政機構			著者名	山口 英男／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04650-3	本体価格	¥10,000	発売	2019/1/25	
内容	古代日本の地域や社会のあり方と行政機構は、どのように歴史的に変容し、相互に関係したのか。奈良時代から平安時代中期の地方行政機構の展開、古代の牧と馬に関する国家の制度と地域における経営の実態、「額田寺伽藍並条里図」の復元的検討、さらに、正倉院文書と史学の四部構成により考察する。著者のこれまでの研究成果を集成した待望の一書。							

書名	〈雅楽〉の誕生 田辺尚雄の聴いた大東亜の響き			著者名	鈴木 聖子／著			
出版社	春秋社	ISBN	978-4-393-93035-9	本体価格	¥3,500	発売	2019/1/25	
内容	〈雅楽〉とはなにか——近代日本において、「科学」を通して日本音楽の研究に終生取り組み、現代われわれが知る〈雅楽〉の概念を作り上げた人物・田辺尚雄。田辺は当時最先端の音響学や進化論などの知見にもとづいて日本の音楽を研究、「日本音階」の探究から出発し、〈雅楽〉を核とする「日本音楽史」を編み上げ、さらには遠くシルクロードのむこうに〈雅楽〉の悠久の響きを追い求めた。つくられた〈雅楽〉の真相に迫る画期的論考。							

書名	くらべてみると面白いほどよくわかる！ (図解)古事記と日本書紀			著者名	ちはやぶる記紀神話研究会／編			
出版社	学研プラス	ISBN	978-4-05-406694-6	本体価格	¥680	発売	2019/1/25	
内容	「古事記」と「日本書紀」は、どこがどう違うのか？「日本書紀」との相違点のほかにも、「世界の神話」の神々との設定の類似性や物語の結末の違いなどもポイント解説。日本人として知っておきたい「古事記」のポイントと真のおもしろさが一気にわかる！							